

4年間で集めた絵葉書

2月3日から17日まで2週間余、ヨーロッパを周遊した。フェラガモやアイグナーといった高級ブランドの財布をお土産に買う友人を横目に、私はせっせと絵葉書を集めていた。旅行中、気がつけば50枚。私はちょっとした絵葉書コレクターである。

収集し始めたのは大学1年生。高校生のころは、絵葉書や切手の類を集めるのを何ともオヤジくさい趣味だと思っていた。

きっかけは1カ月間の短期留学だ。中大でのハイレベルな英語授業や所属する英語サークルの先輩たちに感化され、大学1年生の夏休みにロンドンへ飛んだ。ロンドンを選んだのはヨーロッパの文化に触れるべきだという父親の勧めによるところが大きい。

ナショナルギャラリーや大英博物館をたっぷり堪能した。規模の大きさと芸術品の美しさに感動した。刺激を受けたのは展示物だけではなく、ウェストミンスター寺院やセントポール大聖堂といった宗教建築にも。

「満たされた気持ちをいつまでも覚えていたい」と心底思い英国土産に買ったのが絵葉書だった。

イギリス留学中は、フランスへもユーロスター鉄道で出掛けた。ルーブル美術館ではさらに心奪われる作品たちが待っていた。

# 絵葉書コレクター

文&写真 学生記者 伊坂理花(法学部4年)



やっとの思いで手に入れた  
『洗礼者聖ヨハネ』



『ラ・グランド・オダリスク』にはうっとり魅入ってしまう

特にドミニク・アングルの『ラ・グランド・オダリスク』とレオナルド・ダ・ヴィンチの『洗礼者聖ヨハネ』の2枚を目にした瞬間は、今までで一番心が動いたと言っても過言ではない。しかし、当時後者の絵葉書は発売されていなかった…。

英国では50枚超の絵葉書を集めた。一方、面白いことに1年生後期と2年生の間のコレクションはたった1枚。東京・上野のマウリッツハイス美術館展の際に購入したヨハネス・フェルメールの『真珠の耳飾りの少女』がそれである。

少ないのは精神的にも物理的にも余裕がなかったからだと思われる。英語サークル副会長を任されて、部史上45年ぶりとなる英語劇を立ち上げようとしていた。各方面に協力を仰ぎ、奔走する毎日だった。

授業では、環境政策について学んだことを契機に環境ビジネスコンテストに参加したり、多学部ゼミ(FLP)でゼミ長を務めたりと、いっぱいいっぱいだった。



イタリア・フィレンツェのウフィツィ美術館にて。  
ポッティチェリの『ヴィーナス誕生』『春』はじめ、ルネサンス絵画との出会いを果たした

思い出を形に残したい一心で集め始めたコレクションであるが、長く収集すると自分のライフヒストリーと重なり、成長アルバムのようになるから面白い。

3年生で集めた絵葉書は15枚。見に行った美術展は9つと増えた。2年生から準備した英語劇を成功させ、副会長を引退してホッと一息つけたこと。就職活動の気分転換として、美術展に度々行ったからだと思われる。

このころから友人と美術展に行き始めた。美術展へはきまっぴり独りか母親と行っていた。自分のペースで回っても相手は不快に思わず、自らも気疲れしない。そんな友人は、そうそういるものではない。

3年目にして、私の周りにはそのような友人ができていた。

英語サークルで副会長の私を常に引っ張ってくれた会長。慕ってくれる後輩。中大を退学して医大へ再入学した友人。サークルの縁で仲良くなった他大学の就活仲間…。

彼ら彼女らと行って買った美術展の絵葉書の数々を眺めていると、友人たちへの感謝の気持ちでいっぱいになる。

4年生になった。就職活動を終えてからというもの、コレク

ションはみるみる増えていった。中学1年生以来久しぶりに聴いたウィーン少年合唱団のコンサートで1枚、クラシックコンサートの祭典でアルバイトをしたときの1枚、はたまたジブリ美術館で1枚。

特筆すべきは新たな友人の存在である。彼女は内定先の同期だ。美術史を専攻していて、私の上をいく絵葉書コレクターである。彼女と訪れたチューリッヒ美術館展とキリコ展での時間は本当に濃いものだった。

今回のヨーロッパ周遊5カ国で集めた50枚の中には、前回のルーブル美術館では叶わなかったレオナルド・ダ・ヴィンチの『洗礼者聖ヨハネ』の絵葉書がある。3年半以上の歳月を経て、手にした1枚である。今一番のお気に入りだ。

1年生で集め始め、4年間で辞書2冊分近い厚さになった。1枚1枚に思い出がたくさん詰まっている。私の人生が詰まっている。

社会人になっても、友人や母親、大切な人と一緒にたくさんの美しいものを見て、絵葉書にライフヒストリーを刻んでいきたい。

## 大学4年間で訪れた国々



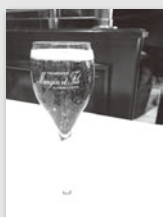
大英博物館での絵葉書



乗り換えで立ち寄った  
空港にて



ビールとソーセージの美味し  
さに衝撃を受けた



シャンパーニュ地  
方の本物のシャン  
パンは絶品だった



フランスにあるノートルダム寺  
院のステンドグラスは圧巻



イタリアとの国境付近アルプ  
ス山脈の光景に息をのんだ

コロッセオにて自身初となる3D絵葉書を購入。  
今と昔の変化がよく分かる1枚



サウンド・オブ・ミュージックの  
舞台を訪れてゲットした1枚